



エネンちゃん



エネにゃん



コンセントに差し込んだままのテレビなど電源は切っているのに消費されている「待機時消費電力」は、家庭で消費する電力のうち約5%（電気料金では約6,160円/年）に相当します。節電タップを利用して、使わないときはスイッチを切るなど節電すれば、年間の待機時消費電力を約49%削減できます。

災害対応特集

災害時に備えた燃料備蓄設備投資を支援する取り組みを紹介します

災害が発生したとき、道路や航路等の輸送インフラが寸断し、復旧が完了するまでは燃料供給は容易ではありません。また、停電により他のエネルギー供給が途絶えることも考えられるため、数日分の燃料を備蓄しておく必要があります。今回、災害時においてライフラインの機能を維持すべき避難所や、病院等への燃料備蓄設備導入等を支援する補助制度と、道内の採択事例を紹介します。

① 災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金のご紹介

【事業概要】

災害発生時に、電力や都市ガスの供給が途絶した場合でも、避難困難者が多数生じる病院、老人ホーム等や、公的避難所及び一時避難所となり得る施設等において、ライフラインの機能を維持できるよう、災害対応LPガスタンク等を設置する企業・自治体等を支援します。

詳細は、以下の(一財)エルピーガス振興センターHPをご覧ください。

<http://saigaibulk.net/>

【対象となる機器】

○シリンダー容器又はバルグ容器 ○容器に接続する圧力調整器部分

○燃料機器：LPガス発電・照明ユニット、LPガス給湯ユニット

LPガス燃焼機器ユニット（調理、炊飯又は冷暖房に供するもの）

※上記が一体的に構成されたものであり、かつ、災害発生時に電気、水道などのライフラインが途絶えた場合でも、独立して稼働できることが条件です。

【補助率】

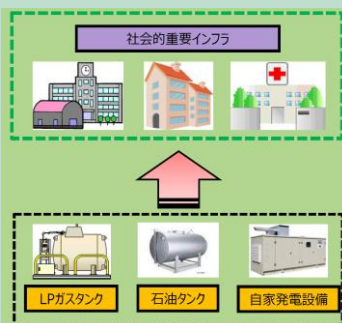
○中小企業者：2/3以内 ○その他：1/2以内

【補助金上限額】

1,500万円／1申請あたり

【公募期間】

平成30年5月23日(水)～8月10日(金)



② 平成29年度採択事例（そらちぶと調剤薬局（砂川市）） ～ 薬局にLPガスでの災害対応型設備を導入～

【企業概要】 <http://flyerscompany2000.com/>

- 「健康創造パートナー」として、地域住民の健康をサポートする在宅支援薬局。
- 高齢者の方のために自宅まで薬を届ける等、地域に根差したサービスも行う。

【設備導入のきっかけ】

災害発生時に地域住民に安心を届けたい、守りたいという思いから、一時的な避難所として必要なLPガス設備での災害対応力の充実を図った。

【導入設備概要】

- 災害用LPガスバルク貯槽（980kg） ○ガスヒートポンプエアコン（5馬力）
- 非常用LPガス発電機（9.9kVA） ○炊き出しステーション ○LED投光器

【その他（補助事業活用による地域への貢献など）】

- 環境への貢献：CO2排出量の少ないLPガスに燃料転換。
- 地域への貢献：災害時における「近隣住民の避難受け入れ」、「避難所提供」について砂川市と協定を締結。



災害用LPガスバルク貯槽と非常用LPガス発電機

GHP

「北海道のエネルギーを支える企業等」 ～ 不測の事態に備えた燃料供給を支える 苫小牧東部国家石油備蓄基地 ～

ガソリン・灯油といった石油製品は、わたしたちの生活に必要な不可欠なエネルギーです。供給不足が発生しても、日本経済や生活に大きな混乱を招かないために石油を備蓄・管理をしている事業所があります。

今回は、その現場となる苫小牧東部国家石油備蓄基地取材しました。

◆ここでは普段どんなことをしていますか？

苫小牧東部国家備蓄基地は、石油の供給途絶のような事態に備えるために、原油の備蓄及び管理を行う全国に10箇所ある国家石油備蓄基地のひとつです。備蓄されている原油量は、日本で最大規模となる約540万KL、今の日本の消費量だと約12日分賄うことができます。



敷地内には57基もの備蓄タンクがある

◆どうして石油備蓄が必要なのですか？

資源小国である日本は石油の約99%を輸入に頼っています。生活に欠かせない石油が輸入できなくなったときのために、原油を備蓄しています。また、基地を安全に管理するために、中央計器室において24時間体制で監視するとともに、万が一の事故や災害を想定した訓練も行っています。

◆石油を安全に備蓄・管理するためにどのような訓練をしていますか？

備蓄タンクの全面火災に備える大容量泡放水砲システム取扱い訓練や原油拡散を食い止めるオイルフェンス展張訓練、模擬タンクを燃焼させ実際の火災を想定した訓練等を行い、基地の保安防災に取り組んでいます。



大容量泡放水砲システム
1分間で6万リットル放水ができる

◆業務でご苦労されたことはありますか？



取材にご協力いただいた
苫小牧東部石油備蓄苫小牧事業所
渡部副所長

8年に1度実施が義務付けられているタンク内を空にしての検査等、もしものときに備えた設備管理が大変です。また、基地内での怪我や事故が発生しないように注意を払って運転管理しています。その結果、昭和61年から無災害を更新中で、本年3月に「第5種無災害」の表彰をいただきました。

<総合エネルギー広報室>

平成30年度「新エネ大賞」募集中

(一財)新エネルギー財団では、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入及び普及啓発の取組を広く公募し、表彰をすることを通じて、新エネルギー等の導入の促進を図ることを目的とした、平成30年度「新エネ大賞」を募集しています。

- ◆募集対象：(1)商品・サービス部門、(2)導入活動部門又は(3)普及啓発活動部門について、概ね3年以内に開発・導入・活動開始されたもの
- ◆応募期限：平成30年7月13日(金)

【問い合わせ先】

(一財)新エネルギー財団 新エネ大賞事務局

TEL：03-6810-0361

詳細は、以下のURLをご覧ください。

http://www.nef.or.jp/award/boshu_30.html



<平成29年度 道内受賞企業のご紹介>

- ◆部門：商品・サービス部門
- ◆表彰種別：新エネルギー財団会長賞
- ◆受賞者名：株式会社土谷特殊農機具製作所（帯広市）
- ◆テーマ名：アイスシェルターは氷を貯蔵した千年氷室～氷だってエネルギー～
- ◆概要：冬の寒冷な外気を導入して、水槽に貯めた水を凍結させ天然氷を作り、それを冷熱源として、夏の貯蔵庫を一定の低温に維持できる冷熱貯蔵システム。シェルター内は冬は暖かく、夏は冷却され、ほぼ1年中一定温度・高湿度の低温貯蔵庫として利用可能。開発した「移動式氷室（アイスシェルター）」は、トレーラーへの積み込みが可能で、生産現場とマーケットを直結できる新しい形態の流通システムを開発。



アイスシェルター



移動式アイスシェルター

<エネルギー対策課>

問い合わせ先

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室

TEL：011-709-2311 内線：2634

E-mail：hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp